

平成 30 年度 10 月 IAC 例会 ボランティア報告書 第3回街頭募金活動

県立神崎高等学校ボランティア部

1995 年 1 月の阪神・淡路大震災や 2004 年の台風 23 号により河川が氾濫し、豊岡・出石では大きな被害が出ました。多くの方々の県内外から義援金やボランティアの参加によって日常を取り戻してきました。

本年 6 月 28 日から 7 月 8 日にかけて、西日本を中心に北海道や中部地方など全国的に広い範囲で記録された台風 7 号および梅雨前線等の影響による集中豪雨は、15 府県で計 227 人の方が犠牲になりました。3 か月が経過した今も避難生活を強いられています。

今回の報告は、平成 30 年 7 月豪雨（西日本豪雨）義援金街頭募金からの報告になります。

- 1 日 時 平成 30 年 10 月 20 日（土）9:00～11:00
- 2 場 所 姫路城前歩道（住所：姫路市本町 68）
- 3 参加生徒 1 年 1 名、2 年 3 名の計 4 名で実施
- 4 募金総額 19,278 円

内訳は以下になります。

種 類	枚 数	金 額
1,000 円	9 枚	9,000 円
500 円	8 枚	4,000 円
100 円	51 枚	5,100 円
50 円	11 枚	550 円
10 円	54 枚	540 円
5 円	12 枚	60 円
1 円	28 枚	28 円



写真1 水害被害を受けた真備地区

5 活動の様子

募金活動は、本年度 3 回目になります。1・2 回目は、ロヒンギャ難民に対する街頭募金でした。

今回の募金活動は顧問の足の指先の骨折や定期考査の関係で、実施が遅くなりました。そのため、10 月の下旬にボランティア活動が集中してしまったため、参加生徒数が少なくなりました。

以下は、当日の募金活動の様子を写したものです。



写真2 街頭募金の様子



写真3 反対側からの様子

6 現地での活動予定

10 月 28 日（日）には、現地（岡山県倉敷市真備地区）での活動等を予定しています。参加人数は、生徒 17 名、校長と引率教員 2 名の計 20 名です。活動場所の真備地区は、岡山で最も水害被害が大きかった地区です。また、参加する生徒は IAC のメンバーと 3 年生の就職決定者です。